

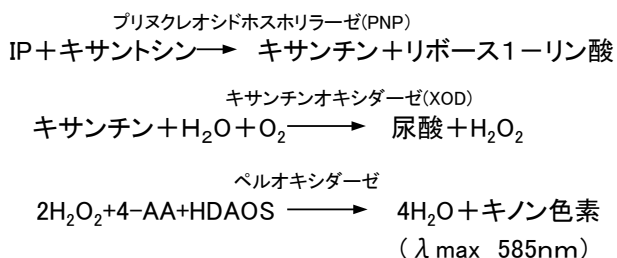
# 「セロテック」 UPI-L

酵素法(PNP-XOD-POD系)

## ■特長

- ・使用時に試薬調製の必要がありません。
- ・試薬の安定性に優れています。
- ・内因性ヒポキサンチン,キサンチンの影響はありません。
- ・共存物質は通常の濃度では影響を与えません。
- ・直線性に優れています。

## ■測定原理



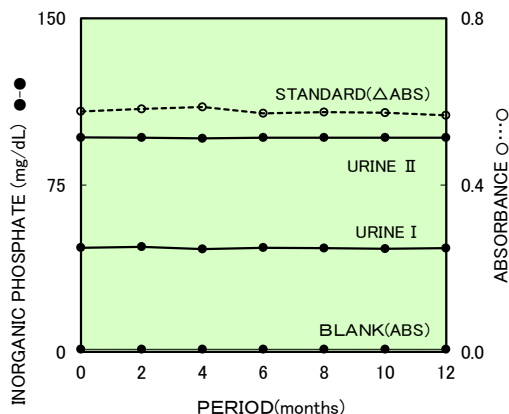
## ■測定条件(日立-7150の場合)

SAMPLE: 2 μL\*<sup>1</sup> (6 μL)\*<sup>2</sup>  
 R-I : 300 μL    R-II : 100 μL

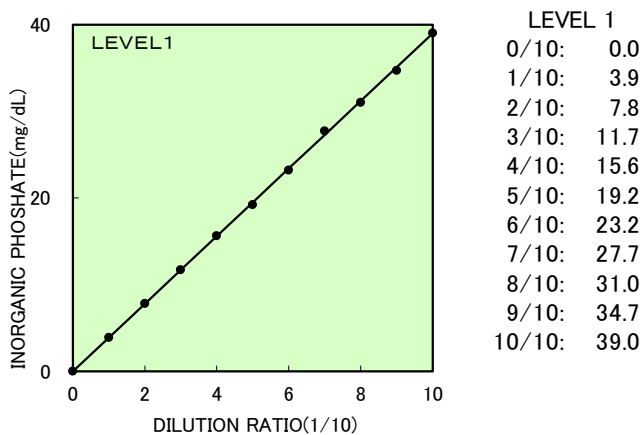
4.8 5.0 10.0(min)

分析法 : 2ポイントエンド24-50  
 波長(副/主) : 700/600  
 STD濃度 : 50.0mg/dL\*<sup>1</sup>, (5.0mg/dL)\*<sup>2</sup>  
 \*1 キャリブ-Uを使用(尿原液の場合)  
 \*2 キャリブ-Mを使用(血清の場合)

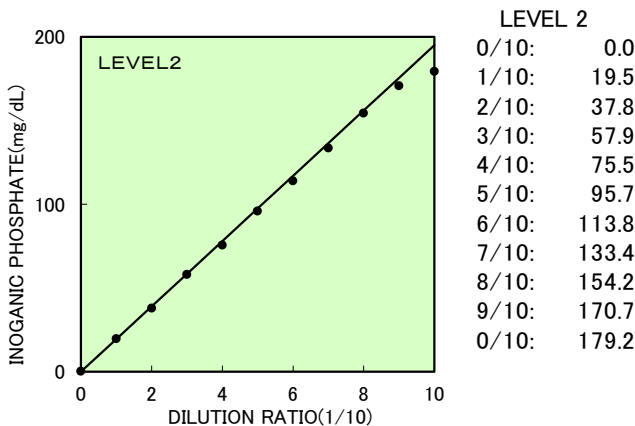
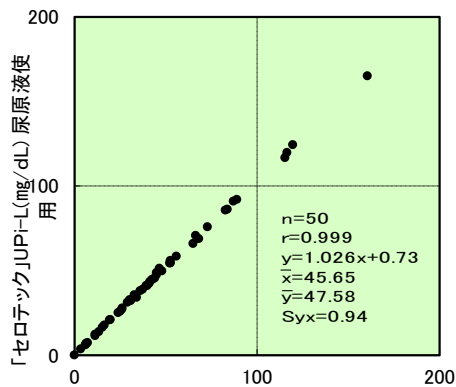
## ■試薬の安定性(8~12℃保存)



## ■直線性(リン酸水溶液)



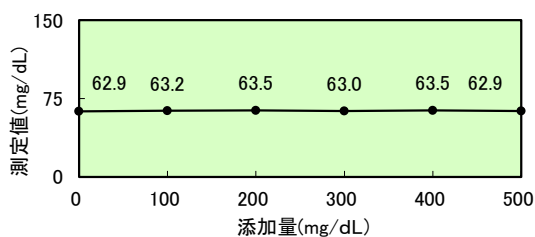
## ■相関(尿)



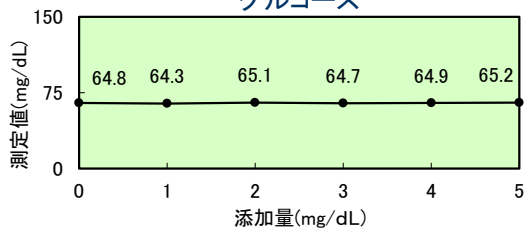
(単位:mg/dL)

■共存物質の影響

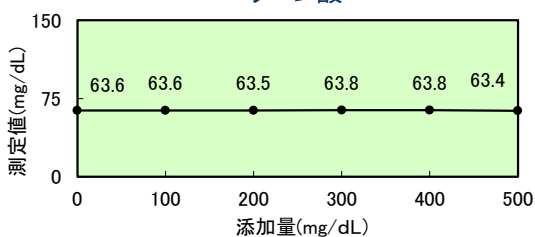
アスコルビン酸



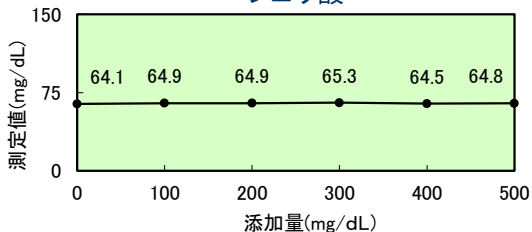
グルコース



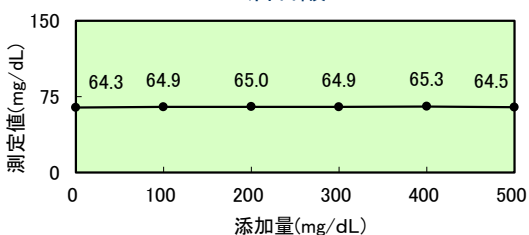
クエン酸



シュウ酸



酒石酸



■同時再現性

	URINE I	URINE II	URINE III	URINE IV
N	30	30	30	30
MEAN	5.92	27.80	46.77	93.84
MIN	5.7	26.9	45.5	89.3
MAX	6.2	28.8	48.4	97.7
R	0.5	1.9	2.9	8.4
SD	0.13	0.45	0.67	1.98
CV(%)	2.20	1.62	1.43	2.11

■包装

製品コード	製品内容	包装形態
A518-15	UPI-L (R-I)	60ml × 4
A518-25	UPI-L (R-II)	30ml × 2
A518-10	UPI-L (R-I)	80ml × 4
A518-22	UPI-L (R-II)	40ml × 2

■参考基準範囲

血清 : 2.4~4.5mg/dL

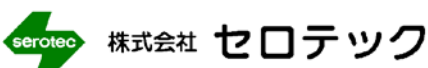
尿 : 0.5~1.0g/day

金井 他, 臨床検査法要, 改訂31版, p599,1998.

■貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1年6ヶ月 (開封後は2ヵ月)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



お問い合わせ先 (企画開発室)

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

E-mail: kikaku@serotec.co.jp